

全員協議会 会議録（要点筆記）

令和3年6月24日

午後 1時30分 開会

午後 2時30分 閉会

場所 : 全員協議会室

【久世孝宏新市長挨拶】

久世孝宏市長：全員協議会の冒頭におきまして、（市長就任後）議会の皆さまには初めてのご挨拶の機会ということで、お時間を頂戴しまして、挨拶をさせていただきます。これから、どうか、よろしく願いをいたします。午前中、初登庁ということで、職員に対し、話をする機会がありました。その中で、今、第7次総合計画で定められています「未来の都市像、チャレンジ溢れるまち半田を目指して行こうと。ここには、果敢に挑戦していくこと、失敗を恐れずに、どんどん、全力を尽くしてやって行きましょう、と話をしました。また、発想を次のように変えていく、「やれない理由を並べるのではなく、やれる可能性を探し出していく」このように発想を全て変えていくのだ、と話をしました。当然のことながら、チャレンジをしていく過程では、私自身、「失敗をしないようなことに取り組むことはチャレンジとは言わない」と、言うことを話をする中で、万が一、失敗するようなことがあれば、市長である私が全責任を負います。とも話をしました。

このような姿勢で市政運営を職員と一丸となって取り組んでまいります。議会の皆さまにも、その私の姿と職員の行動を見守っていただく中でご理解とご協力をいただきまして、一緒に半田市を創り上げていただきますようお願いをしまして冒頭の挨拶とさせていただきます。

これから、どうか、よろしく願いをいたします。

【上程議案の補足説明】

1. 半田市土地開発公社の経営状況について

山本卓美総務部長：資料に基づき説明

質疑無し

2. 個人番号カード（マイナンバーカード）取得促進事業について

出口久浩市民経済部部長：資料に基づき説明

伊藤正興議員：対象者数を教えてください。

出口久浩市民経済部部長：対象は現在（マイナンバーカードの）申込をされていない方全てが対象となりますが、プレゼントの対象は出張申請を申込したグループや、事業所で申請された方、大型商業施設やイベント会場の出張受付で申込をされた方、市民課窓口において予約にて申請された方全てが対象となります。

伊藤正興議員：求めている回答と異なっています。対象となる、マイナンバーカードを取得していない方の「数」をお聞きしています。資料に半田市の43.7%に交付しているありますので、残りの56.3%の方が何人かを教えてください。

出口久浩市民経済部長：6月1日時点での未交付者数は67,656人です。

伊藤正興議員：今回この事業を行うことで、何人の方の取得を見込んでいますか。

出口久浩市民経済部長：目標としましては、現在の43.7%から50%を超えることとしています。

伊藤正興議員：パーセントではなく、人数でお答えください。

出口久浩市民経済部長：10,700人を目指しています。

伊藤正興議員：これまでは、マイナンバーカードを早期に取得しますと、上限25%で5,000円のポイントが付与されるという特典がある中でやってきて、現状56.3%の方が未取得である現状があるわけですが、(今回の特典の)500円のクオカードで目標としている人数が取得されると考えているのですか。

出口久浩市民経済部長：今までは、出張受付の会場に足を運んでいただかなければいけませんでした。これからは、3人以上のグループで申し込ただければ、こちらから出向くことで(負担を軽減し)少しでも多くの方に登録をしていただきたいと考えていますので、そういった取組みで最低でも50%を超える成果を出したいと考えています。

伊藤正興議員：私は「目標」というものは「必達」であると考えています。掲げられた目標は必ず達成しなければいけないと思いますし、予算も全額国の負担ではありますが、545万4千円という費用をかけ実施するものですので、できませんでした、おわり、というのではなく、できるまで、しっかりやっていただきたい、と思いますが、その点について、市長はどのようにお考えですか。

久世孝宏市長：掲げた目標については、当然、達成するように、最大限の努力をして、やるべき、であると考えています。

伊藤正興議員：今、そのようにご答弁いただきましたとおり、必ず実施をしていただきたいと思いますし、国からの補助金は私たちが納めた税金でもありますので、この数値はこれからのしっかりと確認をさせていただきたいと思います。また(事業)終了時点では改めて(議会に)報告をお願いします。

水野尚美議員：説明では、これまでの企業や公民館、大規模商業施設などの出張申請受付を推進し、とありましたが、事業推進のために、場所や時間等を拡大するのか、今までどおりのことをするのか教えてください。

出口久浩市民経済部長：大型施設については現在調整中です。出張受付については、拡大し、3人以上のグループであれば個人宅でもこちらから出向いて受付を行うことを考えています。

水野尚美議員：これまで大型商業施設での出張受付は行っていなかったのですか。

出口久浩市民経済部長：過去には旭町のイオンなどでの出張受付を実施しています。

渡邊昭司議長：また、大規模施設での実施が決まったら(議会に)情報提供をしてください。

加藤美幸議員：以前はカード用の写真を撮るサービスを行っていたと思います

が、写真は撮ってもらえますか。

出口久浩市民経済部長：実施します。

3. 「新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金」の支給について

新村隆福祉部長：資料に基づき説明

鈴木健一議員：支給対象世帯は現在 69 世帯とのことですが、増えていくのではありませんか。

新村隆福祉部長：市としては増えないと見込んでいます。半田市社会福祉協議会で受付を行っていましたが、不承認となる世帯が出てきていませんので、マックスとして 69 世帯です。また、今後生活困窮に陥るような場合、今までも実施してきている緊急小口や総合支援資金もまだ借りられる状況ですのでそちらを優先して貸付を行っていくことを考えています。

4. 新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施について（令和 3 年 6 月追加分）

竹部益世健康子ども部長：資料に基づき説明

中川健一議員：現状を教えてください。半田市の 65 歳以上の接種率は何%ですか。

竹部益世健康子ども部長：正確な数値を持ち合わせておりませんが、（65 歳以上の方で）1 回目の接種は 60%以上の方が終えられています。

中川健一議員：私が市民の方から相談を受けている件で、高齢者施設、特別養護老人ホームやグループホームなどで接種が進んでいないと聞いていますが、現状はどのようですか。

竹部益世健康子ども部長：高齢者の入所者施設につきましては、6 月の中旬から順次実施しています。

中川健一議員：職員、入所者とも実施していない施設があると思いますが、未接種の施設数等の把握はしていますか。と言うのは、半田市では過去に特別養護老人ホームでクラスターが起きているので、そういう高齢者が入所している施設では（未接種のままでは）、入所者の家族も施設の職員も不安ですから早期に実施していただかなければいけません。7 月中の接種完了は当然のこととして、クラスターが発生するような高齢者施設では 6 月中でも実施していただかなければ困るわけですが、現状の接種の進捗状況と、（高齢者施設への接種の）準備がどこまでできて、いつ接種できるのか、を教えてください。

竹部益世健康子ども部長：施設数は資料の持ち合わせがありませんので後ほどお答えします。（高齢者施設の）接種については、施設には医師がいますので、施設側の接種体制を整えば、いつでもワクチンを供給することとしていますので、（接種体制の）準備が遅れている可能性があります。施設側から要望があればワクチンを供給します。

中川健一議員：接種できていない施設を保健センターでピックアップして、接種を働きかけるべきではありませんか。既に施設に通知が送付してあり、6 月中旬から接種を実施しているとのことですので、回答がない施設などに市から早期の接種をお願いするなどしていただきたいと思います。

もう1点、今回コールセンターの回線増や個別接種の委託料の増額などが(補正予算で)計上されているわけですが、例えば、(東京都)中野区などでは16歳以上の方が誰でも打てる状況になっています。でも半田市ではようやく60歳以上の方への接種券の配付が終わったところです。東京は早く始めているので進捗が早いのも仕方ないことですが、若い世代の早期接種も望まれるところです。何が問題となっていて、若い世代への接種が進まないのか。16歳以上の接種券は未だ送られていませんが、そこに対するアプローチは何か行っていますか。

竹部益世健康子ども部長：まず、ワクチンの供給量の問題があります。(接種予約の)枠を拡大してもワクチンが届かなければ打てません。もう1点は、個別接種、集団接種の枠をどれだけ拡大できるか。ワクチンの供給のペースと予約枠の設置状況を勘案し、それに耐えられるよう順次クーポン券を発送しています。

中川健一議員：それでは、中川区は16歳以上が打てる状況ですが、半田市ではワクチンの供給量の問題があり、(クーポン券発送対象年齢を)拡大できない。そういった理解でよろしいですか。

竹部益世健康子ども部長：例えば、東京都では自衛隊がモデルナワクチンの大規模接種を実施していますが、それが(半田市でも)できれば枠を拡大することができます。あくまで、打てる範囲、打てる個所数を勘案しますと現状のペースとなります。

中川健一議員：打てる場所が少ないのであれば、現在、特例で歯科医師の先生も接種できるようになっていますので、協力いただいて、大規模接種会場を増やして、接種の加速化に取り組むべきだと思いますが、それはできないのですか。

竹部益世健康子ども部長：ファイザー製のワクチンは国が人口規模に応じて供給していますので、それを超える要求はできません。そのため、供給量に応じた接種体制で進めていきます。

山本半治議員：Wi-Fiのルーターが計上されていますが、どのように使用するのか等、具体的に教えてください。

竹部益世健康子ども部長：(クーポン送付の拡大に伴い必要が見込まれる)市役所でWEB予約支援を行うためのものです。

山本半治議員：需用費と備品購入費にそれぞれWi-Fiルーターがありますが、詳細はどのようですか。

竹部益世健康子ども部長：複数台購入するルーターにかかるもので、需用費は充電器等の消耗品で、備品購入費は本体です。

坂井美穂議員：54歳以上の方にクーポンを送付すると多くの方が一気に予約することが見込まれるため、WEB予約にかかるサーバーダウン等が危惧されますが、そういった想定はされていますか。

竹部益世健康子ども部長：サーバーの増強がされていますので、問題はないと考えています。

鈴木健一議員：(以前行った)WEB予約出張支援を再度行う考えはありませんか。

んか。

竹部益世健康子ども部長：現時点では考えていません。市役所でのWEB支援と、企業等で行っていただけているところと協力ができればと考えています。

鈴木健一議員：予約で困っている方には市役所を案内すれば良いということですね。

竹部益世健康子ども部長：はい。

加藤美幸議員：「ワクチン接種に関する住民への周知」について、その方法を教えてください。

竹部益世健康子ども部長：市報での周知や、緊急で全市民にお知らせする必要があるものについては、以前実施しましたように全戸配付も考えていますのでそのための予算を計上しています。

5. 「子育て世帯生活支援特別給付金給付事業（ひとり親世帯以外の子育て世帯分）」について

竹部益世健康子ども部長：資料に基づき説明
質疑無し

6. 有楽92号線等道路改良事業について

大山仁志建設部長：資料に基づき説明

鈴木健一議員：花園保育園の運営法人の募集が始まっていると思いますが、今何者の応募がきていますか。

竹部益世健康子ども部長：これから審査の段階ですので、現状、具体的な数をお答えできません。複数者きているということで今日の説明とさせていただきます。

渡邊昭司議長：質問は議題の事業に対してのものとしてください。

7. 一般会計補正予算に関する補足説明

岩橋平武教育部長：議案書により説明

渡邊昭司議長：説明の前半、数値の出る部分は当日配付の追加資料でも良いのでこれからは別に資料を出してください。

8. 半田市児童遊園及びちびっ子広場に関する条例の一部改正について

竹部益世健康子ども部長：資料に基づき説明
質疑無し

【報告案件】

1. 半田病院新病院建設基本設計（案）のパブリックコメント手続の結果について

竹内甲司病院事務局長：資料に基づき説明

中川健一議員：パブリックコメントを読み、18番の動線確保にかかる意見は当然の事だと思えますし、むしろコロナ対策の意味ではきちんとやっていた

かなければいけない点だと思いますが、改善できない理由を教えてください。

竹内甲司病院事務局長：感染症対策については、その時々状態に応じ、例えば地下の診療室に入っただけなどの対策は打っています。このご意見は完全に動線を分けるというものでしたので、その時のためだけに独立した動線を準備しておくことが困難であるため、このような回答となっています。

中川健一議員：例えば、常滑市民病院は感染症の指定病院だが、半田病院はそうではないため、そこまでの対応はできないという回答であればわかりやすいのですが、やれるのであればやった方がよいと思うのですが、

竹内甲司病院事務局長：議員が言われるように、感染症の治療に関しては常滑市民病院が主でやっていただく、パンデミック、現在のようにあらゆる病院で受け入れなければいけない状況に至った場合は半田病院でも患者を受け入れて治療を行っていきます。半田病院はどちらかと言えば後方病院ということで、特別な動線を作って、特別なスペースを確保するというのは敷地の面からも困難であるということです。

午後 2時30分 閉会